

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	公園管理事業			
予算科目	8 款 5 項 2 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ スポーツ・レクリエーションの振興			
所管課情報	担当課: 都市住宅課 電話番号(内線): 582			
記入者情報	所属長: 武智 年哉 担当責任者: 三谷 陽紀			
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】 平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	都市公園及びその他公園の施設利用者			
根拠法令等	都市公園法、伊予市公園条例			
事業の目的	だれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。			
事業の内容	都市公園及びその他公園の維持管理及び施設修繕等を行うことにより、適正に施設管理を行なう。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	五色浜公園プールについて、平成27年度から3年計画で施設改修を実施することとした。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	14,991	27,713	7,354	25,647
	人件費	4,772	4,814	2,407	4,814
	合計	0	32,527	9,761	30,461
人件費 内訳	人工数	0.60	0.60	0.30	0.60
	人件費単価	7,954	8,024	8,024	8,024
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,772	4,814	2,407	4,814
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	3,500
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	745	1,135	0	1,392
	一般財源	19,018	31,392	9,761	25,569

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
光熱水費	千円	1318	1653	785	1278
修繕費・工事請負費	千円	1725	12546	1792	12370
委託料	千円	8041	9547	3279	8510
有料施設利用者数	人	8589	8589		9934

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	27,500	50,000	50,000	50,000	50,000	227,500

成果指標				
成果指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用人数＝成果指標			
指標設定の考え方	スポーツ活動の環境づくりとして、有料施設の利用者数を事業の評価と考え、指標とした。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標32年度
目 標	1.01	1.01	1.01	0
実 績	0.71	0.97	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	老朽化した公設について、公園施設長寿命化計画に基づき、今年度は五色浜公園幼児用プールの改修を行ない利便性・快適性の向上を図った。次年度以降も計画的に各公園施設の改修を行ない、安全性・利便性の確保に努め、快適に利用できる環境整備に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	公園施設のストックの管理にあたっては、限られた予算の中で施設の機能保全のための大規模な手入れや更新などの維持管理を計画的に行うストックマネジメントの取り組みが求められている。具体的には、日常的な維持管理のみを行い施設の機能が果たせなくなった時点で更新する場合と、定期的にコストをかけて手入れを行い施設をできるだけ長持ちさせたい更新する場合の、それぞれのライフサイクルコストの比較を行い、最も必要額が低廉となるような手法で、維持管理に取り組むようにしなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	しおさい公園、五色浜公園、谷上山公園、南新川児童公園の長寿命化計画に基づき、平成27年度から平成36年度の10カ年で施設整備を行うこととしているが、交付金の内示額が低くかつ本市の厳しい財政事情の中で、計画どおり工事が進捗していないのが現状である。今後、計画の見直しや管理方法等について検討する必要がある。

行政評価委員会の答申	
外部評価 (行政評価委員会)	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。